

不動産運用における気候変動対策への取組みについて ～投資用ビルの使用電力の再生可能エネルギーへ切り替えおよび環境認証取得～

朝日生命保険相互会社(社長:木村博紀、以下「当社」)は、サステナビリティ経営方針にもとづく持続可能な社会の実現に向けて、不動産運用における気候変動対策に取り組んでおります。取組みの進捗状況について、お知らせいたします。

1. 投資用ビルの使用電力を再生可能エネルギー由来に切り替え完了

当社がテナントに賃貸する投資用ビルにおきまして使用する電力(※1)を再生可能エネルギー由来(※2)に切り替える取組みを2021年度より進めてまいりました。

この度、対象とするすべてのビル140棟(※3)につきまして切り替えが完了したことをお知らせします。これにより一般家庭約2万世帯分に相当する年間消費電力量約8,350万kWh(2021年度実績ベース)が再生可能エネルギー由来に切り替わりました(※4)。

- ※1:共用部およびテナント様が使用する専有部を含めたビル全体の使用電力を対象としています。
- ※2:各電力会社が提供するCO₂フリーの再エネ電力プランを利用しています。
- ※3:当社が契約主体となっていない一棟貸ビルや一部の共同ビルは除きます。
- ※4:当社が2050年度ネットゼロを目標とする温室効果ガス排出量に換算すると約4万t-CO_{2e}に相当する削減量と試算しています。

2. 「SEGES(シージェス、社会・環境貢献緑地評価システム)」の認定取得

当社が発注者として推進する建設プロジェクト「社宅建替え及び有料老人ホーム新築工事〈あさひの杜国立〉」におきまして、公益財団法人都市緑化機構が運営する認証「SEGES」の『つくる緑』に認定されました。敷地内の緑化や自治体へ提供する公園の整備、地域住民に開放する緑道の設置等の計画が評価されたものです。なお、生命保険会社によるSEGES認定の取得は初となります。

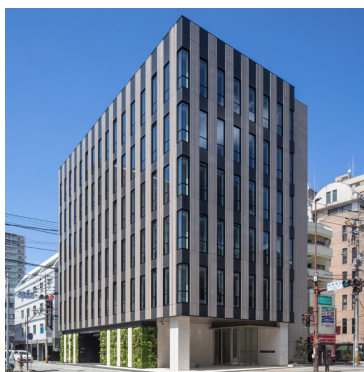


外観イメージ

※SEGES(Social and Environmental Green Evaluation System:社会・環境貢献緑地評価システム)とは、企業等によって創出された良好な緑地と日頃の活動、取り組みを評価し、社会・環境に貢献している緑地であると認定する制度です。認定は「そだてる緑」「都市のオアシス」「つくる緑」の3シリーズがあり、「つくる緑」とは開発・建築に伴う優良な緑地環境計画を認定する制度です。

3. 「CASBEE(キャスビー、建築環境総合性能評価システム)」の認定取得

当社が保有する多摩本社ビルおよび新宿エルタワーにて「CASBEE 不動産認証」A ランクを取得しました。また 2022 年に福岡市内に竣工した朝日生命薬院ビルでも、「CASBEE ウェルネスオフィス認証」A ランクを取得しております。今後も、第三者機関の環境性能評価を通じて、保有不動産の環境負荷低減に関する取り組みの見える化、有効性の検証を行ってまいります。



朝日生命薬院ビル



新宿エルタワー

※CASBEE(建築環境総合性能評価システム)は建築物の環境性能を第三者機関が評価し格付けする手法です。その中でも CASBEE ウェルネスオフィス認証は省エネ性能のほか、建物利用者の健康性・快適性等についても評価します。また CASBEE 不動産認証は竣工後1年以上経過した既存建築物の環境性能等を評価するものです。

〈 取り組みに対応する持続可能な開発目標(SDGs) 〉



当社では、引き続き、経営の基本理念「まごころの奉仕」のもと、サステナビリティ経営を推進し、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

以上